

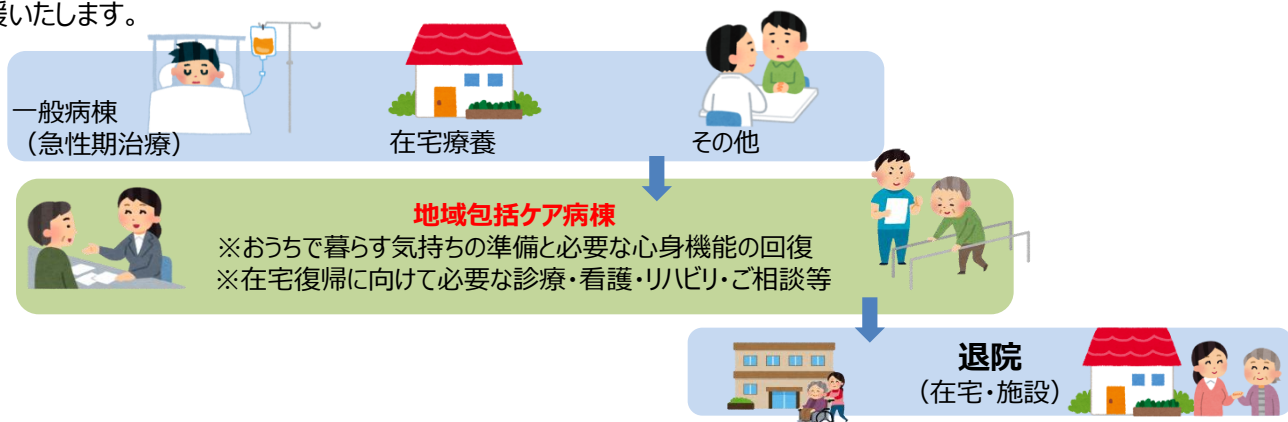
地域医療連携室だより

No.22
2017.8

地域包括ケア病棟開設のお知らせ

平成29年8月1日より、『地域包括ケア病棟』を4階南病棟に開設しました。

現在、当院の一般病棟では症状が安定すると早期に退院して頂いておりますが、『地域包括ケア病棟』では、もう少し長く入院による治療を続け、安心して在宅復帰していただけるよう、医師、看護師、理学療法士、医療ソーシャルワーカー等が支援いたします。



日本一の地域包括ケア病棟を目指して

土谷総合病院
地域包括ケア病棟医長 望月 高明

この度、土谷総合病院に地域包括ケア病棟が44床で開設され、病棟医長に就任致しました。病棟の運営開始にあたり、ご挨拶申し上げます。

ご存知のとおり、この病棟は地域包括ケアシステム構築を推進する観点から、入院患者さんの在宅復帰を支援する役割を担っています。在宅が基本という国の方針に沿って、この病棟には入院期間60日という縛りがあります。つまり、この期間内に在宅復帰可能な状態にまで回復させなさいということです。広島県下では、平成29年5月の時点で、既に64医療機関で運営されており、我々の参入は決して早い方ではありません。

ちなみにこの病棟への入棟には、二つのルートがあります。まず一つめは病院内の一般病棟からの転棟です。初めに一般病棟へ入院し、手術や急性期治療を受けられた患者さんが、在宅復帰に向けてリハビリ目的等で転棟される場合がこれにあたります。二つめのルートは、在宅や介護施設で過ごしている間に、もともとの病気の悪化、または新たな病気を発症して入院治療が必要になった場合です。肺炎や単純骨折等の疾患が挙げられます。

発表されている資料によりますと、当院のように7対1病棟を有する医療機関では、院内の他病棟から転棟した患者さんの占める割合が、90%を超えるケースが多くなっています。私どもは、この現実を承知した上で、「地域包括ケアシステムの構築の観点から在宅復帰を支援する」という本来の役割を重視し、在宅や介護施設からの紹介受け入れに軸足を置いて、病棟運営を致します。具体的には、このルートでの患者さんが病棟開設後早期に70%以上になることを目指しています。

この目標達成には、入院された患者さんご家族が「この病棟に入院して本当に良かった」と心から喜び、満足して頂くことが大切となります。患者さんやご家族からの良い評価を聞かれた在宅担当の先生、介護施設職員の方、知人の方等が自信を持って、我々の病棟を推薦して頂けるように、『日本一の地域包括ケア病棟』を目指して努力する所存です。

皆様の一層の御指導・御鞭撻をお願い致しまして、ご挨拶とさせていただきます。



地域包括ケア病棟開設について ～療法士の立場から～

リハビリ室主任 高村 剛(理学療法士)

急性期病院である当院でもこの8月より地域包括ケア病棟が開設されました。

急性期病棟でリハビリが必要な場合は高度で集中的な医療と並行して、入院契機となった疾患が発症する前の日常生活動作の回復を目指したリハビリを行います。疾患の治療が終了し退院となればリハビリも終わるのが一般的です。その後もリハビリが必要な場合は、回復期リハビリ病院への転院、外来通院もしくは在宅訪問リハビリなどで引き続き行われます。しかし、近年の在院日数の短縮化により急性期病棟に入院している間だけのリハビリでは在宅復帰に少なからず不安がある方もおられるかと思えます。その場合の選択肢として新たに地域包括ケア病棟が加わりました。

地域包括ケア病棟では急性期病棟と同様に医師がリハビリを必要とした場合に実施されます。リハビリが処方されると在宅で暮らすことをゴールとしたリハビリを開始します。機能回復訓練に加え自宅での生活に即した動作訓練など、毎日40分程度のリハビリを行います。最長60日の実施ですが、リハビリで十分な機能回復が見込めなかった場合は、ソーシャルワーカーや看護師と協働し在宅サービスの活用や補装具などの検討も行い、残存機能を生かした在宅生活を目指します。

我々急性期病院の理学療法士・作業療法士も地域包括ケア病棟を通じて、患者さんが地域で安心して暮らせるよう応援していきますのでよろしくお願いいたします。

地域包括ケア病棟入院患者のリハビリの様子



人工膝関節置換術後

上) 午前は膝関節の関節可動域訓練

右) 午後には在宅に向けての屋外歩行訓練

毎日40分(2単位)程度のリハビリを実施しています。

上肢疾患患者

(写真の掲載についてはご本人の了承を得ています)



〈地域包括ケア病棟スタッフ〉

〈左より病棟主任、MSW、病棟師長、退院支援看護師〉

ソーシャルワーカーにおまかせ下さい

医療ソーシャルワーカーは、保健医療分野における福祉の専門職です。当院では介護保険や訪問看護といった制度の利用・サービス内容の調整に関する支援、身体障害者手帳や障害福祉サービス、その他社会資源のご案内、経済的・社会的・心理的な問題に対する相談対応などを行っています。

現在、地域医療連携室には7名の医療ソーシャルワーカーが在籍しております。11の病棟と外来へ担当を配置し、以下のような役割を担っています。

●退院支援

各病棟に配置されている退院支援看護師が患者様・ご家族の方より入院前の状況や退院に向けた意向を伺い、必要な方に入院早期からソーシャルワーカーが介入できるようにしています。治療方針に沿いながら、患者様やご家族の方の希望にできるだけ近い形で退院を迎えられるよう、主治医・病棟看護師長・退院支援看護師と協働して相談を進めていきます。自宅へ退院される患者様については、各種制度のご案内や担当ケアマネージャーとの連絡調整・情報提供を行います。自宅への退院に自信が持てず、病気によって身体的・環境的な理由から自宅退院が難しい場合には、転院先・施設入所の選定支援を行っています。

●患者サポート対応窓口

当院では、地域医療連携室が「患者サポート対応窓口」となり、患者・家族からのご相談を受付けています。医療に係る相談、治療への疑問、経済的問題、療養環境など皆様の抱える多種多様な相談に応じます。内容によっては、適切な部署や職種の者と連携を取り、問題の解決ならびに調整をいたします。ご相談内容につきましては、秘密厳守を徹底しております。また、ご相談されたことにより、不利益を受けることはありません。ご相談を希望される方は1階 地域医療連携室へお越しいただくか、病院スタッフまでお声をお掛けください。



つ・ぶ・や・き 室長の

7月28日は世界肝炎デー

この日を含む月曜から日曜、今年は7月24日~30日が肝臓週間です。

当院では、ウイルス肝炎啓蒙、無料肝炎ウイルス検査強化週間とし、

毎月第4月曜日に肝臓病教室を行っているの、大抵7月の肝臓病教室は、

タイミングよく肝臓週間に開催となります。したがって、7月は、肝炎ウイルス検査の啓蒙と肝炎の基礎的な

話をしています。肝臓病でない入院患者さんにも参加していただこうと、肝臓病教室開催日の昼食に「案内カード」を

つけているのだが、今年も惨敗。参加者は、現在治療中、あるいは治癒した常連さんのみでした。興味のない人をハッとさせ、グッと心をとらえることのむつかしさ。昔、トシちゃんの歌にありましたね。

「ハッとして グッときて パッと目覚める 恋だから～」

このころはまだインターフェロン治療もなかった・・・今やC型肝炎は、副作用のない内服治療で治癒率95%以上、B型肝炎の内服薬も進歩しましたよ。

毎年7月の肝臓病教室で 歌を詠んでいます。季語もなく、我流の自由な歌です。

「ウイルスが いるかないか 知らぬなら 今すぐ行こう 肝炎検査」

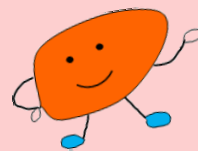
「大丈夫 感染知っても 今ならば よく効く薬が あるからさ」

「怖いのは 感染してるの 知らぬこと 今すぐ行こう 肝炎検査」

さて、読んでいただいた皆様、ハッとして グッときて、パッと目覚めていただけたで

しょうか。また来年に向けて ハッとして グッときて、パッと目覚めるような戦略を考えます。

時節柄 皆さまどうぞご自愛くださいませ。



“ちよとひとやすみ”のコーナーです
地域医療連携室の室長である荒滝医師の日々の
つぶやきにお付き合いください。このつぶやきに共感
するもよし、否定するもよし・・・

医師の異動のお知らせ

〔入職〕

麻酔科 豊田 友加里 (トヨタ ユカリ)
産婦人科 道方 香織 (ミチカタ カオリ)
皮膚科 小刀 茉耶 (コタチ マヤ)

よろしくお祈いします

〔退職〕

麻酔科 柳部 憲佑
産婦人科 桑原 良奈
皮膚科 戸田 さゆり

お世話になりました

■ 7月より泌尿器科の外来診療を中止しました。

■ 外来担当の変更があります。

当院のホームページで
ご確認ください。



各教室のご案内

場所：8階会議室 参加費：無料 *当日参加可能です

《疾患を持つ方とそのご家族、又は興味のある方ならどなたでも参加できます》

| 教室名/時間 | 月日 | | 内容(担当) | お問い合わせ |
|---------------------------|--------|---|---|---------------|
| 慢性腎臓病の食事教室 14:30~15:30 | 9月6日 | 水 | 「献立」の立て方 | 3階南病棟 看護師長 |
| | 10月4日 | | 「減塩の工夫」 | |
| | 11月1日 | | 「たんぱく(1)」の摂り方 | |
| 慢性腎臓病教室 10:30~11:30 | 8月22日 | 火 | 「透析と慢性腎臓病 (CKD)」 | |
| | 9月19日 | | 「糖尿病と慢性腎臓病 (CKD)」 | |
| | 10月17日 | | 「心血管疾患と慢性腎臓病 (CKD)」 | |
| 心臓病教室 14:30~15:30 | 8月7日 | 月 | 運動が心臓に良いて本当!? (理学療法士) | 心臓血管 センター |
| | 9月4日 | | いざという時の心肺蘇生 (看護師) | |
| | 10月2日 | | あなたは大丈夫!?狭心症と心筋梗塞 (医師) | |
| 糖尿病教室 14:00~15:00 | 8月25日 | 金 | 生活習慣病と動脈硬化 (医師) | お薬窓口 |
| | 9月8日 | | アルコールと間食について ~その一口、何キロカロリー?~ (管理栄養士) | |
| | 9月22日 | | 糖尿病の知識 嘘と本当 (医師) | |
| | 10月13日 | | 糖尿病の検査について (検査技師) | |
| 肝臓病教室 14:30~15:30 | 8月28日 | 月 | 肝臓病と栄養/筋肉は第2の肝臓 (管理栄養士/医師) | 北外来 |
| | 9月25日 | | 肝臓病の運動療法 (理学療法士) | |
| | 10月23日 | | 肝臓病の薬/B型肝炎とのつきあい方 (薬剤師/医師) | |



《スタッフ紹介》

| | | |
|---------|---------------|---|
| 室長 | 消化器内科部長 荒滝 桂子 | |
| 転院相談 | 看護師 | 管理看護師長 伊美 礼子 楠本 万理 |
| 紹介予約 | 事務 | 高橋 正江 山崎 貴子 廣川 敦子 |
| 医療相談 | MSW | 林 愛子 清水 香保里 平岡 美紀 桂木 真由美 丸本 彩香 福岡 紗希 印藤 由紀 |
| 入退院センター | 看護師 | 内部 麻紀 亀井 久美子 松本 慶子 宮本 江里子 村尾 麻衣 |

医療法人あかね会 土谷総合病院 〒730-8655 広島市中区中島町3-30

地域医療連携室(紹介予約専用) TEL: 082-243-9222 FAX: 082-243-9223